

第二号第一様式 (第二十三条第四項関係)

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収	就労支援事業収益	17,515,521	16,492,913	1,022,608
	益	障害福祉サービス等事業収益	142,282,272	141,158,472	1,123,800
		経常経費寄附金収益	570,000	1,140,000	△570,000
		サービス活動収益計(1)	160,367,793	158,791,385	1,576,408
	費	人件費	85,397,251	78,873,003	6,524,248
		事業費	9,389,840	9,542,747	△152,907
		事務費	46,763,533	48,113,517	△1,349,984
		就労支援事業費用	17,515,521	16,492,913	1,022,608
		減価償却費	3,742,215	3,848,398	△106,183
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△665,058	△749,248	84,190
	サービス活動費用計(2)	162,143,302	156,121,330	6,021,972	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△1,775,509	2,670,055	△4,445,564	
サービス活動外増減の部	収	受取利息配当金収益	407	380	27
	益	その他のサービス活動外収益	513,875	1,396,398	△882,523
		サービス活動外収益計(4)	514,282	1,396,778	△882,496
	費	支払利息	70,298	98,174	△27,876
		サービス活動外費用計(5)	70,298	98,174	△27,876
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	443,984	1,298,604	△854,620
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△1,331,525	3,968,659	△5,300,184	
特別増減の部	収	特別収益計(8)			
	費用	特別費用計(9)			
		特別増減差額(10)=(8)-(9)			
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△1,331,525	3,968,659	△5,300,184	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	46,621,818	42,339,287	4,282,531
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	45,290,293	46,307,946	△1,017,653
		基本金取崩額(14)			
		その他の積立金取崩額(15)			
		その他の積立金積立額(16)	367,146	△313,872	681,018
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	44,923,147	46,621,818	△1,698,671